

広島県経済の動向

令和5年5月19日
商工労働局

目 次

I	経済動向の概要	1
1	国内経済の動向	
2	広島県経済の動向	
II	県内主要製造業の生産動向	3
1	鉄鋼	
2	自動車	
3	造船	
4	一般機械	
5	電気機械	
III	中小企業の動向	5
1	概況	
2	景況感・景況感の変化	
3	前月から変化のあった主な業種	
IV	企業倒産状況	7
1	概況	
2	業種別	
3	原因別	
4	今後の見通し	
V	最近の雇用失業情勢	8
1	県内の有効求人・求職の動向	
2	県内の新規求人・求職の動向	
3	県内の人員整理の状況	
4	完全失業率の状況(全国・県内)	

(注)「広島県経済の動向」は、国、その他機関等から発表される各種指標を編集、加工し、とりまとめたものです。

I 経済動向の概要

1 国内経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	2月	3月	4月
基調判断	景気は、このところ一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	景気は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	
輸 出	このところ弱含んでいる	弱含んでいる	
生 産	持ち直しの動きに足踏みがみられる	このところ弱含んでいる	
設備投資	持ち直している		
雇用情勢	持ち直している		
個人消費	緩やかに持ち直している		
住宅建設	底堅い動きとなっている		
企業収益	一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している	総じてみれば改善しているが、そのテンポは緩やかになっている	

(2) 先行き

先行きについては、ウィズコロナの下で、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

【内閣府「月例経済報告」(令和5年4月25日公表)】

2 広島県経済の動向

(1) 概要

指 標	R5年		
	2月	3月	4月
基調判断	緩やかに持ち直している		持ち直している
輸 出	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある		
生 産	供給制約の影響が和らぐもとで、持ち直し基調にある	持ち直しのペースが鈍化している	
設備投資	緩やかに持ち直している		
雇用情勢	全体として緩やかに改善している		
個人消費	持ち直しつつある	持ち直している	緩やかに回復している
住宅投資	横ばい圏内の動きとなっている		

(2) 県内の経済の先行き

先行きの景気は、徐々に改善に向かうことが期待されるが、物価動向や供給制約、海外経済の動向などが県内の経済金融情勢に与える影響を引き続き注視していく必要がある。

【日本銀行広島支店「広島県の金融経済月報」（令和5年5月11日公表）】

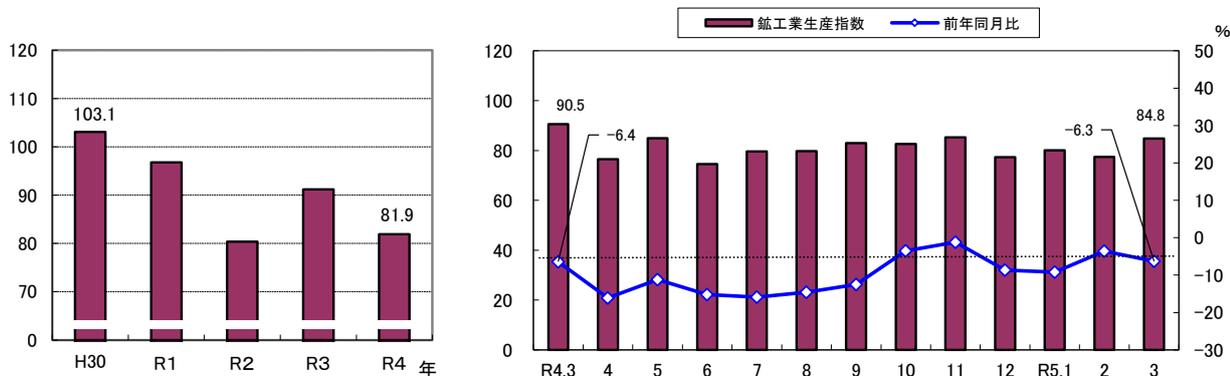
II 県内主要製造業の生産動向

1 鉄鋼(令和5年3月)

3月の鉄工業生産指数(鉄鋼業、原指数、速報値、平成27年=100)は84.8で、前年同月比で6.3%減少となっている。

鉄工業生産指数(鉄鋼業)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

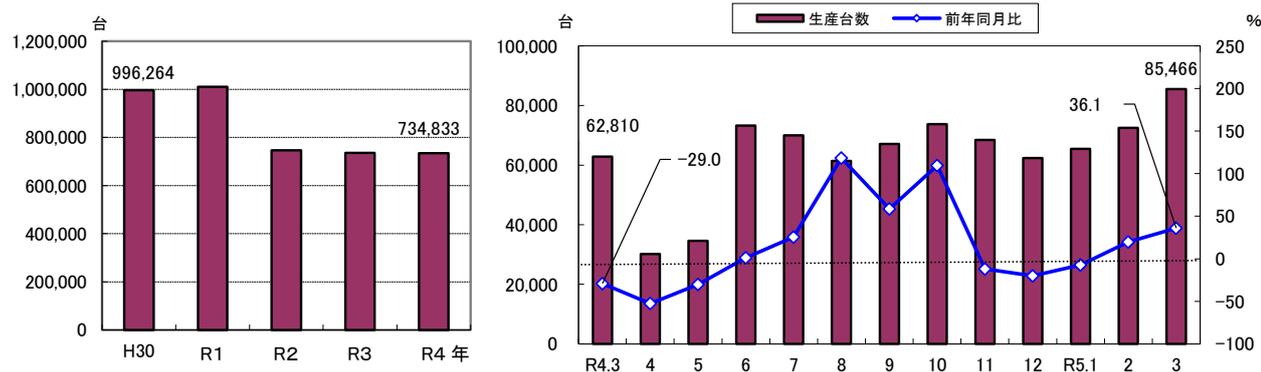


2 自動車(令和5年3月)

3月の国内生産台数は85,466台で、前年同月比で36.1%増加となっている。

自動車生産台数(年別、月別・前年同月比)

【マツダ(株)】

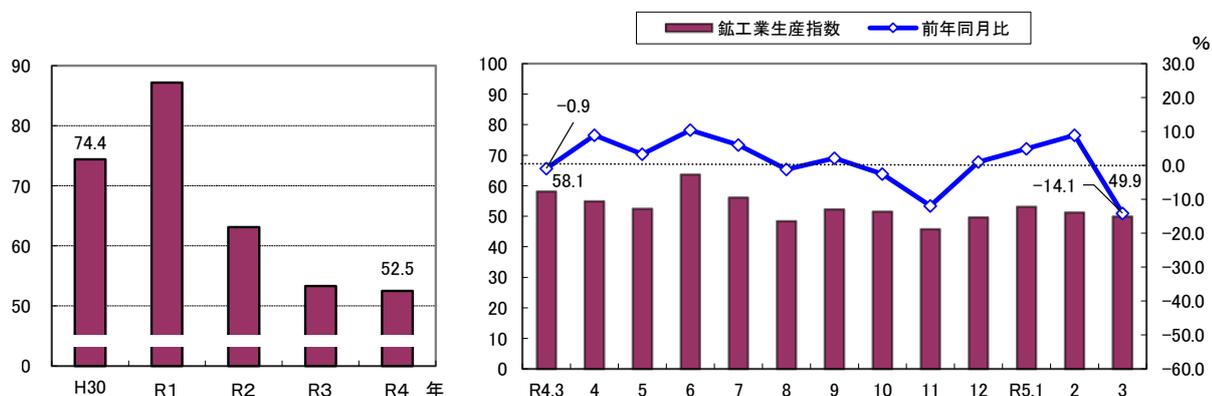


3 造船(令和5年3月)

3月の鉄工業生産指数(造船部門、原指数、速報値、平成27年=100)は49.9で、前年同月比で14.1%減少となっている。

鉄工業生産指数(造船部門)(年別、月別・前年同月比)

【県統計課】

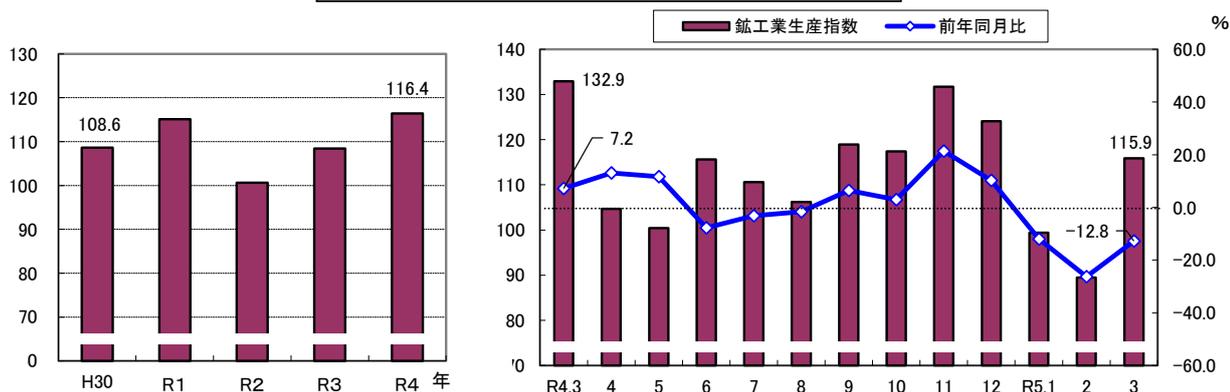


4 一般機械(令和5年3月)

3月の鉱工業生産指数(一般機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は115.9で、前年同月比で12.8%減少となっている。

鉱工業生産指数(一般機械(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】

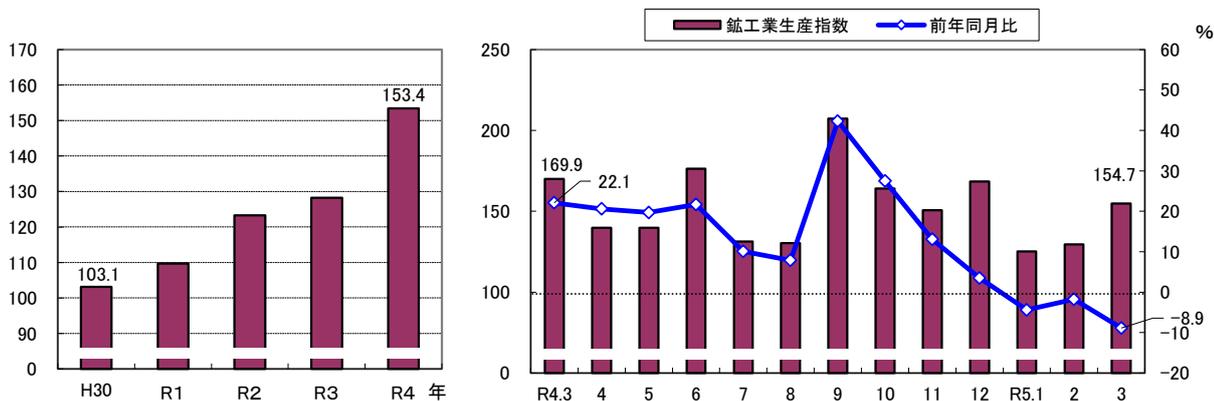


5 電気機械(令和5年3月)

3月の鉱工業生産指数(電気機械工業(総合)、原指数、速報値、平成27年=100)は154.7で、前年同月比で8.9%減少となっている。

鉱工業生産指数(電気機械工業(総合))(年別, 月別・前年同月比)

【県統計課】



Ⅲ 中小企業の動向(令和5年3月)

【広島県中小企業団体中央会（令和5年4月15日時点）】

1 概況

新型コロナウイルス感染拡大防止のための規制などが無くなり、活気や人流が徐々に回復してきた印象があるものの、中小企業の大半が、原材料、電気代、燃料代等の高騰による収益性の悪化に苦しんでいる。コストが上昇した分の価格転嫁に成功している事業者は少なく、慢性的な人材不足、最低賃金の引き上げ等に伴う人件費の上昇など、依然として先行きの見えない厳しい状況が続いている。

自動車関連業種では、国内自動車販売台数は前年同月比+11.6%と7ヶ月連続で増加。マツダ車は+36.1%となった。

木材業界では、全国の令和5年3月の新設住宅着工戸数は73,693戸で前年同月比▲3.2%。広島県内の着工戸数は1,863戸で、前年同月比+26.6%となった。

※マツダ車に関する記載はマツダ（株）が発表する「3月の生産・販売状況について（速報）」に基づく

※木材業界に関する記載は3月分のデータを掲載

2 景況感・景況感の変化

業種	2月の景況感	3月の景況感
食料品	普通	普通
繊維・衣服	やや悪い	やや悪い
木材	やや悪い	やや悪い
家具	やや悪い	やや悪い
印刷	普通	普通
化学	やや悪い	やや悪い
プラスチック製品	普通	普通
土石製品	悪い	悪い
鉄鋼(鋳物)	普通	普通
金属製品	普通	普通

業種	2月の景況感	3月の景況感
一般機械器具	普通	やや悪い
電気機械器具	普通	普通
自動車部品	普通	普通
造船	普通	普通
建設	やや悪い	やや悪い
トラック輸送	やや悪い	普通
内航海運	やや悪い	やや悪い
卸売	やや悪い	やや悪い
小売	やや悪い	やや悪い
情報サービス	普通	普通

(単位：業種)

景況感	2月	3月	増減
好況	0	0	0
やや好況	0	0	0
普通	10	10	0
やや悪い	9	9	0
悪い	1	1	0

3 前月(2月)から変化のあった主な業種

業種	2月の景況感	3月の景況感	変化の理由・状況
トラック輸送	やや悪い	普通	<ul style="list-style-type: none"> ・3月の売上高は前月比、前年同月比ともに増加 ・コロナ禍での規制等が解除され、営業活動も徐々に拡大している ・燃料価格高騰に対する政府の補助金が減額となり、3月時点で価格は高止まりしている ・軽油価格は原油需要の増加により、1円60銭の値上げとなった <p>【広島東部トラック運送事業協同組合】</p>
一般機械器具	普通	やや悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・売上は前月比+30%、前年同月比は+3%となった。 ・また、日工会が発表する2月工作機械受注実績は前年同月比▲10.7%の1,240億9,500万円と2ヶ月連続の減少となった。 ・国内外でユーザーの設備投資に対する姿勢が慎重であることが減少要因であると考えられる。 <p>【広島県東部機械金属工業協同組合】</p>

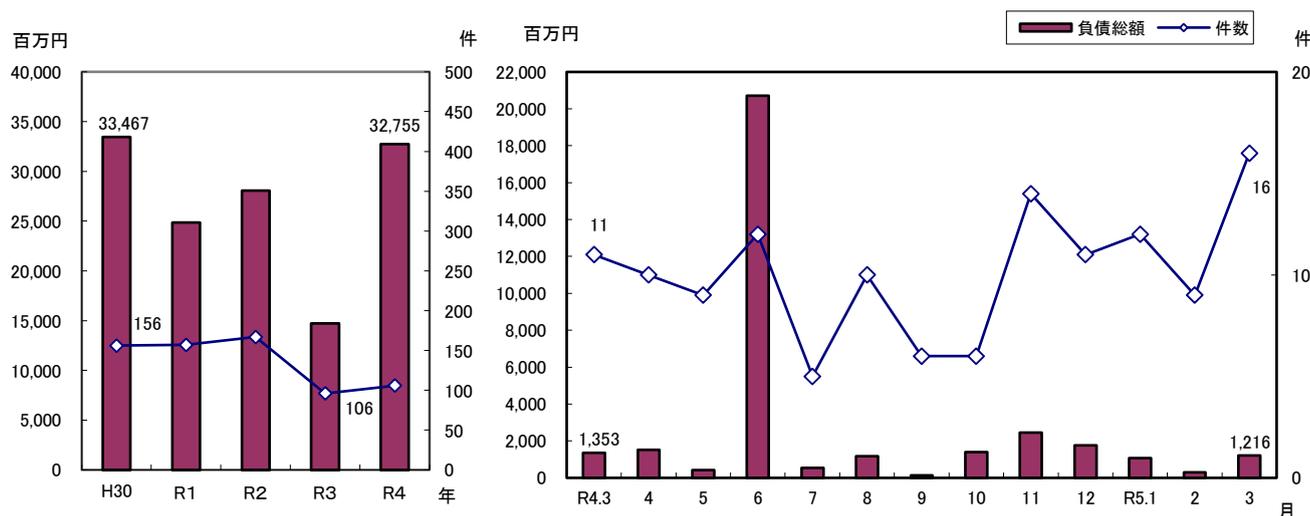
IV 企業倒産状況(令和5年3月)

1 概況

- ・負債総額1,000万円以上の倒産は、件数が16件、総額12億1,600万円であった。
- ・前月比で件数は7件増加し、負債総額は9億1,800万円増加した。
- ・前年同月比では、件数は5件増加し、負債総額は1億3,700万円減少した。
- ・大型倒産(負債総額10億円以上)の発生はなかった。

区分	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
件数 (前年同月比)	12件 (50.0%増)	9件 (125.0%増)	16件 (45.5%増)
負債総額 (前年同月比)	1,070百万円 (8.39%減)	298百万円 (166.1%増)	1,216百万円 (10.1%減)

企業倒産件数・負債総額(1,000万円以上)(年別、月別・前年同月比)



2 業種別

件数は、卸・小売・飲食業が7件、サービス業が5件、建設業が3件、その他が1件となった。負債総額では、サービス業、卸・小売・飲食業、建設業、その他の順となった。

3 原因別

原因別では、販売不振が13件、他社倒産余波、売掛金回収難、設備投資過大が各1件であった。

4 今後の見通し

令和5年3月度の倒産件数は16件となり、令和2年5月以降35ヵ月連続で20件以下の低水準となったが、前年同月比では5ヵ月連続の増加となるなど徐々に倒産件数の増加が見受けられる。業歴別倒産状況では30年以上が4件、10年以上20年未満が4件と業歴10年以上の倒産が全体の50.0%を占め、前月2月度では業歴10年以上の倒産が全体の55.5%と比較的業歴の長い企業の倒産が続いている。

原因別にみると販売不振が13件で最多で、既往のシワ寄せ、売掛金回収難を合計した不況型倒産は14件で全体の87.5%を占めた。

そのような中、新型コロナウイルスを要因とした倒産は3月度16件中9件発生し、これまでの累計は124件(負債総額1,000万円以上)となり、倒産に占める新型コロナウイルス関連倒産の割合は高まりつつある。

政府は、新型コロナウイルスについて感染法上の分類を5月8日付での季節性インフルエンザと同等の5類への引き下げを決定し、経済活動の活性化へ舵を切った。ただ、中小企業の中にはコロナ支援の反動に身構える企業は多い。経済のアクセルを踏み込みつつ、事業継続の瀬戸際にある企業への目配せも必要で、慎重な経済運営が政府、行政に求められている。

今年1月10日からスタートした「コロナ借換保証」の利用率は低率で推移しており、この制度は、ゼロ・ゼロ融資などの返済負担の軽減に加え、事業再構築などを伴走支援者と推進するものだが、資金繰りに追われる中小・零細企業の利用にはハードルが高く、「余裕を残した企業」だけの活用を懸念する声もある。ポストコロナに向け、過剰債務を抱えた企業の破たん回避に注目が集まりやすいが、成長に向けた足場固めの周知も必要だろう。

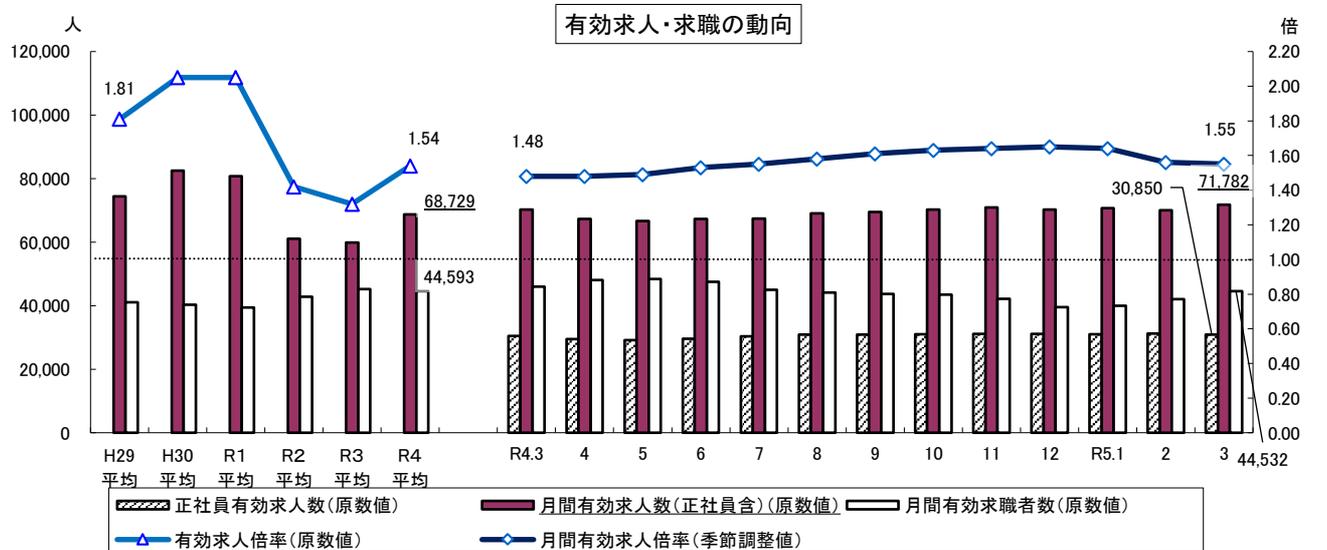
【(株)東京商工リサーチ(4月6日時点)】

V 最近の雇用失業情勢(令和5年3月)

1 県内の有効求人・求職の動向

区 分	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
有効求人倍率<季節調整値> (前月比)	1.64倍 (▲ 0.01ポイント)	1.56倍 (▲ 0.08ポイント)	1.55倍 (▲ 0.01ポイント)
正社員有効求人倍率 (前年同月比)	1.29倍 (+0.12ポイント)	1.24倍 (+0.07ポイント)	1.16倍 (+0.05ポイント)

【広島労働局】



(注1) 正社員有効求人倍率は、正社員の有効求人数をパートタイムを除く常用有効求職者数(派遣労働者や契約社員を希望する者も含む)で除して算出しているため、厳密な意味での正社員有効求人倍率より低い値となる。

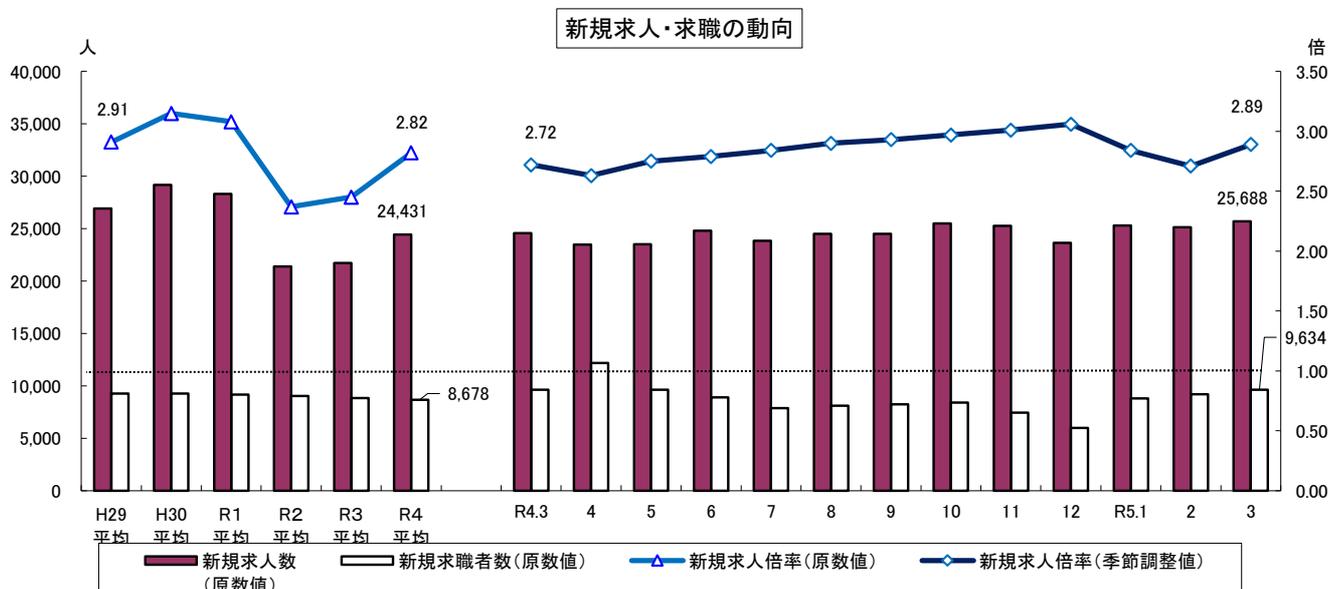
(注2) 正社員有効求人倍率は、季節調整されていない。

(注3) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

2 県内の新規求人・求職の動向

区 分	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
新規求人倍率<季節調整値> (前月比)	2.84倍 (▲ 0.22ポイント)	2.71倍 (▲ 0.13ポイント)	2.89倍 (+0.18ポイント)

【広島労働局】

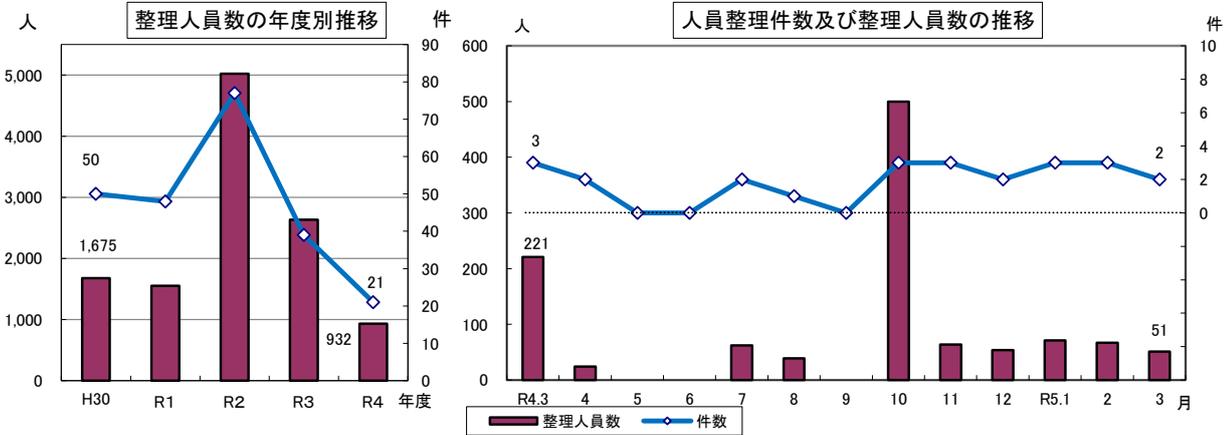


(注) 令和4年12月以前の季節調整値は改訂されている。(令和5年1月分公表時改訂)

3 県内の人員整理の状況(整理人員10人以上)

区分	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
件数 (前年同月比)	3件 (± 0件)	3件 (▲ 2件)	2件 (▲ 1件)
整理人員 (前年同月比)	71人 (▲ 6人)	67人 (▲ 56人)	51人 (▲ 170人)

【広島労働局】

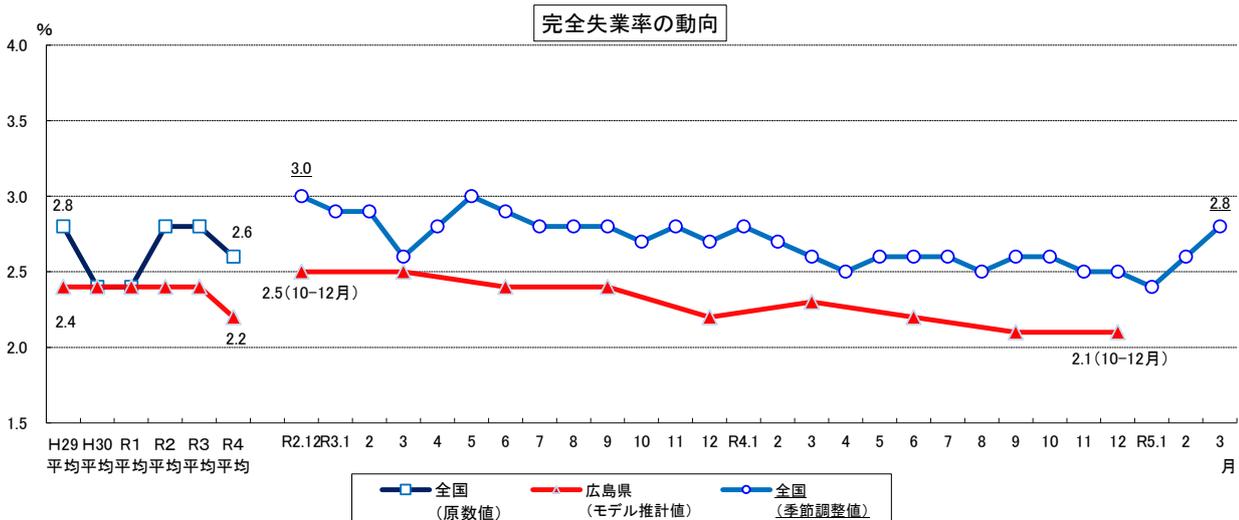


4 完全失業率の状況(全国・県内)

区分	令和5年1月	令和5年2月	令和5年3月
全国完全失業者数 (前年同月比)	164万人 (▲21万人)	174万人 (▲6万人)	193万人 (+13万人)
全国完全失業率(季節調整値) (前月比)	2.4% (▲0.1ポイント)	2.6% (+0.2ポイント)	2.8% (+0.2ポイント)

区分	令和4年		
	4～6月平均	7～9月平均	10～12月平均
広島県完全失業率 (モデル推計値) (前年同期比)	2.2% (▲0.2ポイント)	2.1% (▲0.3ポイント)	2.1% (▲0.1ポイント)

【総務省統計局】



※ 広島県(モデル推計値)は、毎年1～3月期平均公表時に、新たな結果を追加して再計算を行い、前年までの四半期平均及び年平均結果を過去にさかのぼって一部改定している。